

# 入試を見据えた読解力を確実に高める安心の教材ラインナップ

## 第一部では、定番の作品からなじみのある章段を採録



**古文読解のために**

**第一部**

- 寝殿造の構造
- 住居の描写
- さまざまな敬語
- 文法から解釈へ——副助詞「だに」「さへ」「キサキ」の名称
- 紛らわしい語の識別「ぬ」
- 仏教と現世利益
- 文法から解釈へ——敬語の有無
- 和歌の修辞——序詞の用法

**第二部**

- 歌徳説話
- 文法から解釈へ——助動詞「らむ」「む」
- 長文を接続助詞で区切る
- 方塞がり・方違へ
- 因果応報
- 歌の「心」と「詞」と「さま」
- 西鶴の文体

▶各単元末に「古文読解のために」を新設しました。古文読解のために必要な文法・語句や読解の方略、作品の背景などを単元内の教材に即して簡潔に解説しています。バラエティに富んだラインナップです。

▶「古典の扉」では、韻文・物語・日記・随筆の4ジャンルについて、年代バーを活用した、文学史の解説を新設しました。

▶安元の大火について書かれた、『方丈記』と公家の日記である『百練抄』とを読み比べ、書きぶりの違いを話し合います。入試での出題が増えている、ノートにまとめる形式の課題です。

第二部では定番の作品から読み応えのある章段をメインに、  
入試を見据えた作品も採録



1 説話

四の宮河原地蔵のこと(宇治拾遺物語)  
小大進、  
北野の神助を被ること(古今著聞集)

2 随筆

枕草子……………清少納言  
宮に初めて参りたるころ  
[学びを広げる] 古典の扉 中関白家の盛衰  
——『枕草子』を読むために  
二月つごもりころに  
大納言殿参り給ひて

3 物語

源氏物語……………紫式部  
物の怪の出現(葵)  
[学びを広げる] 能「葵上」  
心づくしの秋風(須磨)  
明石の君の苦惱(薄雲)  
女三の宮の降嫁(若菜上)  
柏木の垣間見(若菜上)  
萩の上露(御法)  
浮舟と匂宮(浮舟)  
小野の里訪問(夢浮橋)  
[古典の扉] 物語の系譜②——『源氏物語』以後  
堤中納言物語 虫めづる姫君  
[参考] 愛づ——虫愛づる姫君(中村桂子)

4 日記文学

蜻蛉日記……………藤原道綱母  
うつろひたる菊  
[学びを広げる] 『蜻蛉日記』広がる逸話  
鷹を放つ  
和泉式部  
夢よりもはかなき世の中を  
和泉式部  
紫式部日記……………紫式部  
秋のけはひ  
日本紀の御局

5 歴史物語

大鏡……………道真と時平  
[学びを広げる] 日本三大怨霊  
最後の除目  
肝試し  
道長と詮子

6 評論

古今和歌集仮名序(紀貫之) やまと歌は  
俊頼髓腦(源俊頼) 杳冠折句の歌  
無名草子 清少納言/紫式部  
無名抄(鴨長明) 深草の里  
毎月抄(藤原定家) 心と詞  
正徹物語(正徹) 一字の違ひ  
風姿花伝(世阿弥) 下手は上手の手本  
[学びを広げる] 世阿弥の言葉  
去来抄(向井去来) 行く春を/岩鼻や  
難波土産 虚実皮膜の間  
源氏物語玉の小櫛(本居宣長) ものあはれ  
[古典の扉] 国学の隆盛

7 近世の文学

西鶴諸国ばなし……………井原西鶴  
大晦日は合はぬ算用  
[学びを広げる] 読み比べ——太宰治「貧の意地」  
曾根崎心中……………近松門左衛門  
[古典の扉] 近世の多様な出版文化

巻頭資料

この教科書で学ぶ作品と文学史  
絵でたどる平安貴族の一生  
装束

資料編

ブックガイド  
古典文法要覧  
古典文学史年表  
古文重要語句  
官制・官職/位階  
陰暦  
古時刻/古方位/十干と十二支  
旧国名・都道府県名対照図  
住居・調度  
京都付近地図/奈良付近地図  
平安京条坊図/内裏/大内裏

▶大充実の資料編です。  
巻頭に視覚的資料を新設しました。「この教科書で  
学ぶ 作品と文学史」では、全ジャンルの文学史を概  
観できます。「絵でたどる 平安貴族の一生」では、古  
文読解に不可欠な平安貴族の一生を視覚的に理解  
できます。

▶「うつろひたる菊」と『拾遺和  
歌集』『大鏡』を読み比べます。  
入試での出題が増えている、ノ  
ートにまとめる形式の課題です。

▶入試にも頻出する『源氏物語』の章段数を増やし、第一部と第二部合  
わせて全11本を採録しました。また、作品全体を見渡せるコーナー「光  
源氏の物語——長編物語としての魅力」(p.172)、「光源氏亡き後の物  
語——第三部より「宇治十帖」を中心に」(p.186)を新設しました。

▶入試を見据えて、評論の単元  
を設けました。さまざまな時代・  
ジャンルの文章を豊富に採録して  
います。